

Clazzio

SEAT COVER



TOYOTA
GR 86
SUBARU
BRZ

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

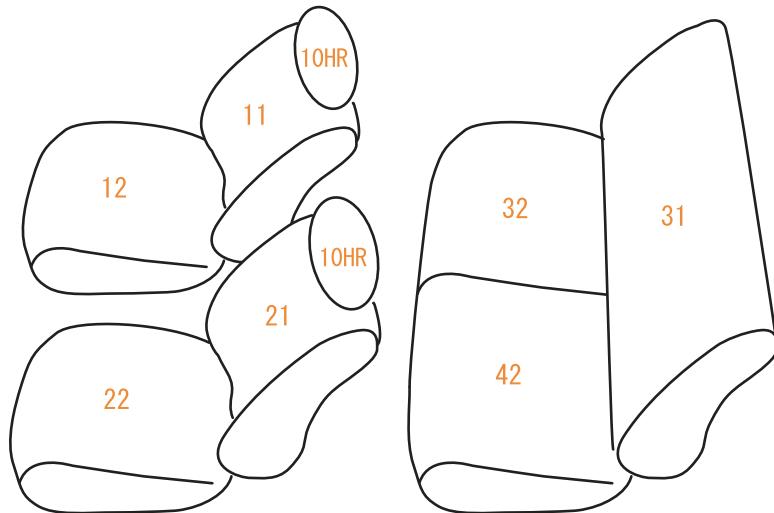
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 …> 3P～4P
- 1列目座面の装着方法 …> 5P～6P
- 1列目背もたれの装着方法 …> 7P～9P
- 2列目座面の装着方法 …> 10P～12P
- 2列目背もたれの装着方法 …> 13P～14P
- 1列目ヘッドレストの装着方法 …> 15P
- ひもの結び方 …> 16P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …> 17P～18P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(10mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合せ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合せの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例) 座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）
その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てる、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するバーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあががつたり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のバーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1列目座面の装着方法

※説明書の撮影のためにシートを車体から取り外していますが、
実際はシートを取り外す必要はありません。



- 1 1列目は助手席側での説明になります。
最初に、シート背面から裏側へ回っている
生地の固定を外します。
生地は、シート裏でゴムによって固定され
ています。



- 2 カバーをシート全体にかぶせます。



- 4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 5 ヘラ等を使用し、外侧面に付いている固定
部材を、生地と共にプラスチックカバーの
隙間に入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みま
す。
背もたれの角度を調節して、入れ込みやす
い角度で作業を行って下さい。



- 6 全て入れ込むと図のように仕上がります。



7 内側面の生地裏に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。
※マジックテープに保護テープが付いている場合は剥がして下さい。



8 カバー左右の後ろ側の生地を、シート付け根の隙間に入れ込みます。



9 カバー前面についているベルトをシート裏から背面側に通します。
この時、スライドレバーの上を通し、シート裏の配線等ができるだけかわすようにして下さい。



10 背面側に通したベルトと、4番で引き出した生地に付いているバックルを固定します。
ベルトの固定方法は11番を参照して下さい。



11 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締り固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意下さい。



12 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。運転席も同様に取り付けます。

Step 2

1列目背もたれの装着方法



1 初めに、肩口のレバーを取り外します。
レバーを上げた所にあるフタを付属のヘラ等を使用し外します。



4 肩口に付いているシートベルトガイドのボタンの固定を外します。



2 図のように、レバーを上げた奥に1箇所と手前に1箇所でレバーがネジ止めされています。
ネジをドライバーを使用して外します。



5 カバーのファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



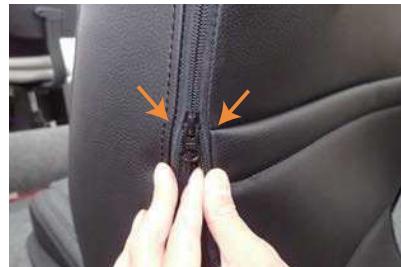
3 レバーをシートから浮かせます。
レバーには配線が付いている為、完全に取り外すのではなく、シートから浮かせるだけにして下さい。



6 カバー肩口のスリット部分から、4番で外したシートベルトガイドを取り出します。



7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



10 カバー左右のファスナーを、生地を内へ寄せながら閉じます。



8 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。この時、生地のスリット部分で配線をかわすようにして下さい。



11 ファスナーの端は、カバーの内側に入れ込みます。



9 5ページ1番で固定を外した生地をカバーの内側に入れ込みます。



12 生地の伸びを利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



13 カバーをシートに馴染ませます。
図のように①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を**8番**と同様に背面側から引き出します。



16 生地をシート裏に回し、ゴムに取り付けた金属フックをシート裏の金属部分に固定します。
固定箇所に指定はありませんが、程よくテシジョンが掛かる位置に取り付けて下さい。



14 **8番**で引き出した生地に付いているマジックテープと、背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



17 **3番**で外した肩口のレバーを、カバーの上から固定します。



15 背面下部の生地に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



18 **4番**で外したシートベルトガイドの固定を戻し、カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。
運転席も同様に取り付けます。
※シートベルトガイド固定用穴とボタンの位置が合わない場合は、カバーを馴染ませ直して、穴位置を合わせて下さい。

Step 3

2列目座面の装着方法



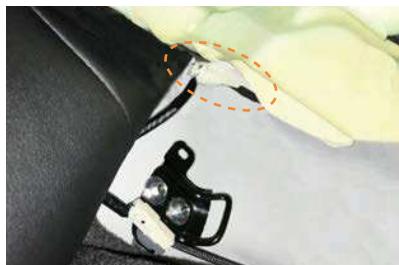
- 1 2列目は運転席側での説明になります。
シート前側にあるボルトを、ソケットレンチ（10mm）を使用し外します。



- 4 車体側の金具位置です。図の線の位置にシート側の金具がはまる事で、シートが車体に固定されていますので、矢印方向にシートをずらす事で金具が外れます。



- 2 シートは車体に、図の○印の位置にある金具で固定されています。3番4番を参考にシートを下側にずらすようにしながら、金具からシートを取り外します。



- 5 シート裏でカブラーがつながっている為、カブラーを外します。



- 3 シート側の金具位置です。



- 6 取り外したシートは、車外の広いスペースへ運び出します。
※シートを運び出す際に車体を傷付けないよう注意して下さい。



7 カバー裏面に付いているゴムを、チャイルドシート固定用フックの穴に通します。



10 カバー前側に付いているひもは、シート前側の金具の内側を通して下さい。



8 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



11 カバーの左右から出ているひもをシート裏で固定します。
ひもの固定方法は16ページを参照して下さい。



9 シートを裏返し、カバーに付いているベルトを固定します。5番で外したカブラー近くのベルトは少し緩めた状態にして下さい。※カブラーを戻す際、ベルトを強く固定していると戻しにくくなります。
ベルトの固定方法は6ページ11番を参照して下さい。



10 7番で通したゴムに付属の金属フックを取り付け、シート底面に引っ掛け固定します。
引っ掛ける場所に指定はありませんが、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。スポンジに直接金属フックを引っ掛けるとスポンジが破損する恐れがありますのでスポンジに直接引っ掛けないで下さい。



- 13** カバーのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。
※この作業は背もたれカバー装着後に行って下さい。

図は助手席側



- 14** シートを車体に戻す際、最初に5番で外したカブラーを戻します。
※この作業は背もたれカバー装着後に行って下さい。

図は助手席側



- 15** 次に、9番で緩めていたベルトをしっかりと固定し直します。
作業はシートの側面側から手を入れて行って下さい。
この後は、外した時と逆の手順でシートを車体に戻します。
※この作業は背もたれカバー装着後に行って下さい。

Step 4

2列目背もたれの装着方法

※別年式の車種の図を使用しています



- 1 初めに、トランクを開けラゲッジボードを取り外します。



- 4 2番で取り外した生地をめくり上げると、背もたれの生地がプラフックで固定されている為、固定を外します。
※プラフックは15ページ4番のように固定されています。



- 2 付属のヘラ、内張り剥がし等を使用し、背もたれ背面下部の荷室側に固定されている生地を外します。



- 5 カバー両側面のファスナーを開き、シート全体にカバーをかぶせます。



- 3 生地は、図のようにピンで固定されています。



- 6 ヘラ等を使用し、リクライニングスイッチの隙間に生地を入れ込みます。

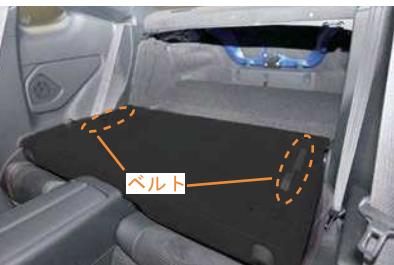


7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



10 7番で入れ込んだ生地を背面側から引き出し、生地に付いているカギ状のブラフックと4番で外したブラフックの内、板状のブラフックを固定します（カギ状のブラフックはどこにも固定せずに、カバーの内側にある状態になります。）。

ブラフックの固定方法は15ページ4番を参照して下さい。



8 背面のベルトをカバーの加工穴から取り出します。

※穴位置が合わない場合、カバーを馴染ませ直して下さい。



11 カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



9 カバー両側面のファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。
ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



12 2番で外した生地の固定を戻し、カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。

Step 5

1列目ヘッドラストの装着方法



1 カバーを半分程度裏返し、ヘッドラストの先端までしっかりとカバーをかぶせます。
※板状のプラフックが付いている方が前側になります。



2 カバーをヘッドラスト全体にかぶせます。



3 ヘッドラストをシートから取り外し、カバーに付いているプラフックを固定します。
プラフックの固定方法は4番を参照して下さい。



4 フックはカギ状になっているプラフックに板状のプラフックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



5 プラフックを固定すると図のように仕上がります。

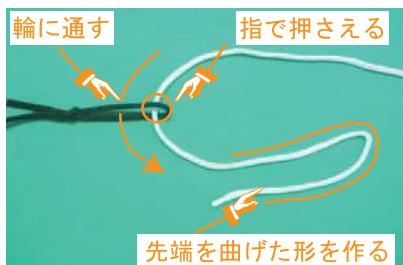


6 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドラストの完成です。

ひもの結び方



- 1 ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひも
を使用しています。



- 2 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひも
が通っている箇所を指で押さえます。この
後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形に
します。



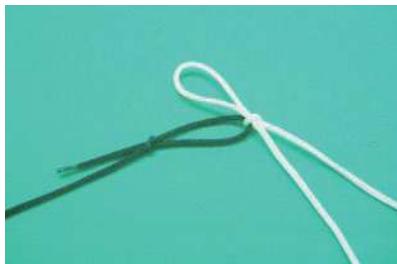
- 3 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 4 輪に、重ねた先端を裏から通します。



- 5 通した後、カバーから出ている方のひもを
引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしま
いますのでご注意ください。



- 6 引っ張ると図のような形になり完成です。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- ① 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

※一部商品は対象外です。



- ② シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- ③ シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メーター単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッソイオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラスエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。
このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816